

学校概要

創立 40 周年	学校長 生中 信行	副校長 赤羽知恵子	学期 2 学期制	児童・生徒数 382 人
学級数 一般級: 12 個別支援級: 2		主な関係校: 中山中学校		

学校教育目標

「ここに学び ここで遊ぶ ここがふるさと 上山の子」
 ○自ら問題を発見し、自分の考えをもって学び合い解決を図ることで、楽しく学べるようにします。(知)
 ○自分のよさを知り自信をもつとともに、互いの特性や生き方を認め合うことができるようにします。(徳)
 ○自他の生命を尊重し、心と体の健康を大切に安全に生活する力を高めることができるようにします。(体)
 ○自然の営みや優れた文化・様々な生き方に触れ、感性が豊かになるようにします。(公)
 ○地域や広い世界とかかわり合いながら、共に生きることのすばらしさを実感できるようにします。(開)

学校の特徴

- 住宅地の高台に位置し、学校周辺は緑豊かで自然環境に恵まれ、近くに上山町公園、県立四季の森公園があり、生活科や横浜の時間・社会科・理科学習に活用ができる材が豊富にあり、豊かな外遊びもできる環境である。
- 保護者・地域からの信頼が厚く、社会科・生活科など学習活動支援のPTA活動・地域行事や活動にも協力的である。
- 授業研究・授業準備に熱心な職員が多い。若手・中堅のコミュニケーションもよく、学び合う姿勢が良い。
- 基本的な学校生活習慣を整えることで、学校全体の学習活動の力を高めていく必要がある。
- 運動を楽しむことで体力・コミュニケーション能力アップを図り、粘り強く学習に取り組めるよう育てていく必要がある。

学校経営中期取組目標

学校教育目標を実現し、一人ひとりが認められているという安心感のある心から楽しく過ごせる学校づくりを進めます。
 ・子どもが互いを認め合い、温かくなかかわり合える学級・学校づくりのために、児童指導・理解の充実を確実に進めます。
 ・子どもの自主性・主体性を生かした問題解決的な授業づくりを各教科等で進めます。
 ・子どものよりよい成長のため、家庭・地域、小中一貫教育推進ブロック4校・他機関と連携を深め、開かれた信頼される学校づくりを進めます。
 ・子どものために教職員が協力して、互いを理解し、支え合っていくとする活気ある組織づくりを進めます。
 ・子どもが運動を楽しむことで体力アップ・コミュニケーション力アップを図り、粘り強く学習に取り組む自己肯定感が高まる取り組みます。

小中一貫教育の取組

中山中	ブロック	中山中学校・中山小学校・森の台小学校
9年間で育てる子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ」を大切に、人と人との豊かななかかわりの中で思いやりのある子ども ・地域行事や地域ボランティアへの積極的な参加を進め、地域に貢献することの意味や価値がわかる子ども 	
自校の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の中に人と人との豊かななかかわりを積極的に取り入れる。 ・挨拶運動や花いっぱい活動、ボランティア清掃などへの児童の参加を一層進めていく。 ・授業研究会への参加を他校へも呼びかけ、本校の児童の様子を他校と共有しておく。 ・地域行事へは、管理職・職員とも積極的に参加する。 	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	自ら問題を発見し、自分の考えをもって学び合って解決を図ることで、楽しく学べるようにし、表現力・思考力を高める。	①子どもの自主性・主体性を生かした問題解決学習から表現力・思考力を高める授業を進める。②重点研の研究主題「一人ひとりの子どもが豊かななかかわりの中で学ぶ楽しさを味わえる体育学習のあり方」から、運動を楽しむことで体力アップ・コミュニケーション力アップを図り、粘り強く学習に取り組む、実践力の高まる授業を進める。
豊かな心	人と心通わず、信頼関係づくりにつながる自己コントロール力・思考力・判断力を育て、自他を大切に心育てる。	①道徳の時間を大切に、豊かな体験活動、教育活動を進める。 ②たてわり活動や異学年交流、地域とのかかわり合いを通して、好ましい人間関係の構築をできる力を育む。
健やかな体	運動を楽しむ(体育科・外遊び)から、体力アップを図り、豊かななかかわりの中で心身ともに健康な児童の育成を目指す。	①できるようになる、ステップアップする経験のもてる体育学習から、外遊びの時間が増え、体力アップ・コミュニケーション力アップにつなげる。 ②学校保健委員会などで家庭・地域と連携し、心身ともに健康な児童の育成を目指す。
児童生徒指導	全職員で「学校の約束」の意義・意味を共有して指導し、コミュニケーションを大切に、いじめ防止・早期発見に努める。	①子ども同士のかかわり方、心通わず関係のつくり方を授業・学校生活全体を通じて育み、豊かななかかわりができる力を身につけることを通して、規範意識を高める。 ②児童アンケートを活用して分析し、指導に生かします。コンサルテーションを進める。
特別支援教育	研修を進め、どの子どもも安心して学習や学校生活ができる指導に努める。	①合理的配慮を進め、児童の特性に合わせ、発問や教材・板書・学習カードを工夫し、どの子にもわかる授業を目指す。 ②生活の基本・学習習慣の基本が身につくような教室環境・学校環境を目指す。 ③他機関との連携を進める。
教職員の研究・研修	重点研究を中心に研究・研修を深め、授業力・教師力を高める。	①学年(ブロック)研究会の充実を図り、授業力・学級経営力を高める。 ②授業改善・人権研修・児童指導理解研修・メンター研を進め、教師力を高める。
保護者・地域連携	保護者・地域との関係から、より豊かな学習活動につなげ、開かれた学校づくりに努めるとともに、信頼される学校運営を進める。	①地域行事に参加し、フェイストゥフェイスを大切に心通わず信頼関係づくりをチーム上山(全職員)で進める。 ②連携を図ることで、信頼される学校運営を進める。
人材育成・組織運営	それぞれの部会で、主体的な研究・研修・学び合いを進め、教師力向上に努める。	①さまざまな研修の実施により、一人ひとりが主体的に課題やテーマに向けて授業力や児童理解・指導力を高め、自信をもって、子どもたちが安心して楽しく学級づくりをする。③教務会・主任会・学年(ブロック)研のチーム力を高め、学校の組織的運営力を高める。